

平成27年度

入学者選抜要項

平成26年7月



変化する、そして進化する。

大分大学

平成27年度入学者選抜方法について

平成 27 年度大分大学入学者選抜の平成 26 年度との主な変更点は次のとおりです。（新高等学校学習指導要領の実施に伴う大学入試センター試験の「数学」及び「理科」の科目の変更並びに個別学力検査の「数学」及び「理科」の出題範囲を除く。）

○経済学部【AO入試・推薦入試】

経済学部では、平成 27 年度入学者選抜試験から次のとおり募集人員等を変更します。

年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
	入試区分	募集人員	入試区分	募集人員
募集人員等	AO入試（英語資格）	5名	AO入試（英語資格）	5名
	AO入試（簿記資格）	10名	AO入試（簿記資格）	15名
	推薦入試（普通推薦）	50名	推薦入試(普通推薦)	50名
	推薦入試（商業推薦）	30名	推薦入試(商業推薦)	25名
	一般入試（前期日程）	120名	一般入試(前期日程)	120名
	一般入試（後期日程）	90名	一般入試(後期日程)	90名
	合計	305名	合計	305名

○医学部医学科【AO入試・学士編入学】

医学部医学科では、平成 27 年度入学者選抜試験から次のとおり地域枠の募集人員等を変更します。

年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
	入試区分	募集人員	入試区分	募集人員
募集人員等	学士編入学	10名 地域枠 3名 一般枠 7名	学士編入学	10名 地域枠 0名 一般枠 10名
	AO入試	35名 地域枠 10名 一般枠 25名	AO入試	35名 地域枠 13名 一般枠 22名

目 次

	ページ
アドミッション・ポリシー	2
1. 募集人員	16
2. 入学者選抜実施日程	17
3. 入学者選抜方法等	18
(1) 一般入試	21
①志望学部・学科等	21
②出願資格	21
③選抜方法	22
④平成 27 年度入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	23
◎各欄の注意事項	36
◎旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について	40
⑤一般入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）	41
(2) 推薦入試	44
①推薦要件	44
②入学者選抜方法等	44
③出願期間	48
④選抜期日	48
⑤合格者発表	48
⑥推薦入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）	49
(3) アドミッション・オフィス入試（AO入試）	51
(4) 帰国子女入試	53
(5) 中国引揚者等子女入試	54
(6) 社会人入試	55
(7) 私費外国人留学生入試	57
4. 障がいのある者等の事前相談	60
5. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故により 転学等をした者の事前相談	60
6. 入試過去問題の使用について	60
7. 平成 26 年度入学者選抜に関する実施状況	61
8. 平成 28 年度入学者選抜方法について — 予告 —	63
9. 募集要項の請求方法	64

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。(学校教育課程)
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。(情報社会文化課程)
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。(人間福祉科学課程)

求める学生像

学校教育課程

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

情報社会文化課程

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人(社会文化コース)
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人(情報教育コース)
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人(総合表現コース)

人間福祉科学課程

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人(社会福祉コース)
- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人(心理分野)
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人(スポーツ・健康分野)
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人(生活分野)
- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人(環境分野)

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、社会人入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

- ・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では募集単位ごとに小論文、教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能、感性、基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

- ・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また、個別学力検査は募集単位ごとに面接又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

- ・推薦入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技、作品審査が加わる）及び提出書類を総合的に判断して選考します。

- ・帰国子女入試、中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。帰国子女入試は情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・社会人入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・私費外国人留学生入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技検査が加わる）及び提出書類を総合して選考します。ただし、出願資格として日本留学試験を受験し所定の要件を満たしていることが必要です。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センター試験で課している教科・科目について、及び一般入試（前期日程）において各コース・分野で課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。推薦入試，帰国子女入試，中国引揚者等子女入試，社会人入試，私費外国人留学生入試や一般入試（後期日程）においては、これら教科・科目の学科試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
なお、習得しておくべき科目は国語総合，国語表現Ⅰ，現代文，古典です。

地理歴史，公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理，歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会，世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。
なお、習得しておくべき科目は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学Bです。

理科：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと，話すこと，読むこと，書くことに関する基礎的な能力を身につけ，積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり，適切に伝えたりする力を養い，国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。
なお，習得しておくべき科目は英語Ⅰ，英語Ⅱ，リーディングです。

経済学部アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学者は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したもので

す。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

〈地域システム学科〉

地域システム学科では、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

- ・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査(数学または英語から1教科選択)、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

医学部アドミッション・ポリシー

基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

医学科

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

看護学科

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

求める学生像

医学科

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

看護学科

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

入学者選抜の基本方針

医学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では、一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程）

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

- ・アドミッション・オフィス入試（略称「AO入試」）

AO入試とは、従来の高等学校長による推薦ではなく自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜するものです。一般入試と同じく大学入試センター試験は、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接と集団面接を行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

- ・学士編入学

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っています。

看護学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、看護学科では、一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした3年次編入学を実施しています。

- ・一般入試（前期日程・後期日程）

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については5教科5科目を課しています。また、個別学力検査については、前期日程では小論文を課すことにより、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

- ・推薦入試

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、高等学校長等の推薦書及び調査書を参考資料とします。

- ・社会人入試

社会人入試では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・3年次編入学

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業生等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に習得することが必要です。

医学科

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。
- 地理歴史、公民**：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。
- 数学**：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。
- 理科**：物理基礎・物理（注1）、化学基礎・化学（注2）、生物基礎・生物（注3）の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。
（注1）旧教育課程履修者においては、物理Ⅰ・物理Ⅱ
（注2）旧教育課程履修者においては、化学Ⅰ・化学Ⅱ
（注3）旧教育課程履修者においては、生物Ⅰ・生物Ⅱ
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要。

看護学科

- 国語**：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。
- 地理歴史、公民**：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。
- 数学**：数学Ⅰまたは数学Ⅱの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。
- 理科**：物理基礎・物理（注1）、化学基礎・化学（注2）、生物基礎・生物（注3）の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。
（注1）旧教育課程履修者においては、物理Ⅰ
（注2）旧教育課程履修者においては、化学Ⅰ
（注3）旧教育課程履修者においては、生物Ⅰ
- 外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。
- 保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要。

工学部アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科では次のような人を求めています。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的 I T（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めています。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な、数学、化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え、意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

〈福祉環境工学科〉

本学科は、すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており、このような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり、都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため、建築には自然と共生しながら、人間生活の安全性・快適性を追求し、その質を向上させながら、長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって、自然科学や工学の分野だけでなく、人文、社会科学から芸術にわたる幅広い知識が必要となります。

本コースでは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力、豊かな人間性及び幅広い見識を兼ね備えた建築家、建築技術者、研究者の育成を目標としています。そのため本コースでは次のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学、人文、社会科学並びに芸術の分野に関心があり、幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
 - 2 あらゆる立場の人とコミュニケーションできる能力と見識を有する技術者になりたいという旺盛な意欲をもっている人
 - 3 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力を獲得するため努力をする人
- ・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置 (= Mechanics + Electronics, ロボットはその一例) は、多くの人の負担を軽減すると共に、今まで人にしかできなかった作業も可能にしつつあります。

本コースは、このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし、次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を持ち、これを育もうとする人
- 2 理工学、人文並びに社会科学の分野に関心があり、メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 4 自ら課題を見つけだし、それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試(前期日程・後期日程)のほか推薦入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試(前期日程)

大学入試センター試験(5教科7科目)および個別学力検査(数学、理科)により、専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

・一般入試(後期日程)

大学入試センター試験(5教科7科目)により、専門分野の学習に必要な基礎学力をみるとともに、個別学力検査(面接)により、専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

・推薦入試

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験および面接により総合的に評価し、選抜します。基礎能力試験では、いくつかの設問を通じて、基礎能力を含む論理的思考力、課題解決能力を見ることで、受験者の工学分野への適性をはかります。また面接では、専門分野への関心・意欲・理解をみるとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査(数学、理科、英語)、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を

見るとともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科、英語）、面接により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を見るときともに、積極性、自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み、理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

・第3年次編入学

面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を見るときともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

工学部の教育においては、高等学校において学習する以下のような教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によりそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけ、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心を持つことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについて、基礎的な計算技能を習得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理基礎・物理（注1）および化学基礎・化学（注2）について、基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。

（注1）旧教育課程履修者においては、物理Ⅰ・物理Ⅱ

（注2）旧教育課程履修者においては、化学Ⅰ・化学Ⅱ

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが必要です。

1. 募集人員

学部	課程・学科・コース	入学定員	募 集 人 員						
			一 般 入 試			推 薦 入 試		A O 入 試	
			前 期 日 程		後 期 日 程				
教育 福 祉 学 部	発達教育コース【注1】	25	19【注4】②④		6				
	特別支援教育コース	10	3【注4】②④		2	5			
	学校教育課程 教科教育コース【注1】	65	小論文と国語	6名程度	41 【注4】 ②④	11	音楽選修	2	9
			小論文と社会認識	6名程度			美術選修	2	
			小論文と数学	6名程度			保健体育選修	2	
			小論文と理科	6名程度			家庭科選修	3	
			小論文と実技(音楽)	3名程度			技術選修 普通推薦 2 工業推薦 2	4	
			小論文と実技(美術)	3名程度					
			小論文と実技(保体)	3名程度					
	小論文と生活認識	2名程度							
小論文と英語	6名程度								
小 計	100	63		19	18				
情報社会文化課程	社会文化コース	15	7【注4】①②③④		3	5			
	情報教育コース	20	11【注4】①②③④		4	5			
	総合表現コース	15	7【注4】①②③④		3	5			
	小 計	50	25		10	15			
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24【注4】①②③④		5	普通推薦 5 福祉推薦 1	6		
	心理健康福祉コース【注1】	30	心理分野	7	14 【注4】 ①② ③④	心理分野 3	8	5	
			スポーツ・健康分野	7	スポーツ・健康分野 5	3			
	生活環境福祉コース【注1】	30	生活分野	10	20 【注4】 ②④	生活分野 3	6	2	
			環境分野	10	環境分野 3	2			
小 計	95	58		19	18				
計	245	146		48	51【注3】				
経済学部	経済学	130	120		90【注4】①③④		普通推薦 50 商業推薦 25		英語資格 5 簿記資格 15
	経営システム学	130							
	地域システム学	45							
	計【注2】	305							
医学部	医学	100	65		-		-		35 (地域枠13を含む)
	看護学	60	35		15【注4】③		10		
	計	160	100		15		10		35【注3】
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	80	53【注4】①④		15	A推薦 9 B推薦 3	12		
	電気電子工学科	80	52【注4】①④		14	A推薦 11 B推薦 3	14		
	知能情報システム工学科	70	44【注4】①④		11	A推薦 10 B推薦 5	15		
	応用化学科	60	38【注4】①④		10	A推薦 10 B推薦 2	12		
	福祉環境工学科	建築コース	50	35【注4】①④		10	B推薦 5		5
		メカトロニクスコース	30	16【注4】①④		6	A推薦 6 B推薦 2	8	
	計	370	238		66	66【注3】			
合 計	1080	604		219	202		55		

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

(ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から各選修への所属を決定します。

発達教育コース「教育学(10)」「教育心理学(10)」「幼年教育(5)」

教科教育コース「国語(8)」「社会(8)」「数学(8)」「理科(8)」「音楽(5)」「美術(5)」「保健体育(5)」

「技術(5)」「家庭科(5)」「英語(8)」

※()内は推薦入試等の他の入試での入学者を含めた各選修のおおよその定員です。

(イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに合格した分野に所属します。

心理健康福祉コース「心理分野」「スポーツ・健康分野」生活環境福祉コース「生活分野」「環境分野」

【注2】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注3】推薦入試、AO入試の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試(前期日程)で補充することがあります。

【注4】募集人員には、①帰国子女入試(若干名)、②中国引揚者等子女入試(若干名:教育福祉科学部のみ)、③社会人入試(若干名)、

④私費外国人留学生入試(若干名)の募集人員を含みます。

2. 入学者選抜実施日程

入試区分		学部	募集要項 公表時期	出願期間	試験日	合格者発表
一般入試	前期日程	経済学部 医学部看護学科 工学部	12月上旬	平成27年1月26日(月) ～ 平成27年2月4日(水)	平成27年2月25日(水)	平成27年3月6日(金)
		教育福祉科学部 医学部医学科			平成27年2月25日(水) 平成27年2月26日(木)	
	後期日程	教育福祉科学部 経済学部 医学部看護学科 工学部			平成27年3月12日(木)	平成27年3月20日(金)
推薦入試		教育福祉科学部【注】 経済学部 医学部看護学科 工学部	10月上旬	平成26年11月4日(火) ～ 平成26年11月7日(金)	平成26年11月22日(土)	平成26年12月5日(金)
A O 入試		経済学部	6月中旬	平成26年8月18日(月) ～ 平成26年8月22日(金)	平成26年9月25日(木)	平成26年10月14日(火)
		医学部医学科	6月中旬	平成26年11月4日(火) ～平成26年11月7日(金)	平成27年2月8日(日)	平成27年2月11日(水)
帰国子女入試		教育福祉科学部【注】 経済学部 工学部	12月上旬	平成27年1月19日(月) ～ 平成27年1月23日(金)	平成27年2月6日(金)	平成27年2月16日(月)
中国引揚者等 子女入試		教育福祉科学部				
私費外国人 留学生入試		教育福祉科学部 経済学部 工学部				
社会人入試		教育福祉科学部【注】 経済学部	6月下旬	平成26年7月22日(火) ～ 平成26年7月25日(金)	平成26年8月19日(火)	平成26年9月9日(火)
		医学部看護学科				

【注】教育福祉科学部で推薦入試、帰国子女入試、社会人入試の募集を行う課程・コース・分野等については、20ページを参照してください。

3. 入学者選抜方法等

平成 27 年度入学者選抜方法等（一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試）【前期日程】

選抜方法等	学部・学科等名	個別学力検査等							専門高校・総合学科 卒業生入試					個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）	
		実技検査等			2段階選抜				実技検査等							
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行いその合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する			募集人員
								定員に対する倍率	その他							
教育福祉科学部	学校教育課程（発達教育コース）	○	×	×	○	×									2月25日 実技検査は 2月26日	追加合格
	学校教育課程（特別支援教育コース）															
	学校教育課程（教科教育コース）	①	①	×	○	×										
	情報社会文化課程（社会文化コース）															
	情報社会文化課程（情報教育コース）	○	×	×	×	×										
	情報社会文化課程（総合表現コース）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	人間福祉科学課程（社会福祉コース）															
	人間福祉科学課程（心理健康福祉コース〈心理分野〉）	○	×	×	○	×										
	人間福祉科学課程（心理健康福祉コース〈スポーツ・健康分野〉）	○	○	×	×	×										
人間福祉科学課程（生活環境福祉コース）	○	×	×	○	×											
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日		
医学部	医学科	○	×	○	×	×	○	約3倍	×					2月25日 面接（医学科）は 2月26日		
	看護学科	×	×	×	○	×	○	約6倍	×	×	×	×	×			
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日		

【注1】各欄の○は該当することを，×は該当しないことを示します。

【注2】①は選択する科目によりどちらかが課されます。

選抜方法等 学部・学科等名		個別学力検査等							専門高校・総合学科 卒業生入試					個別学 力検査等 の日程	備考（欠員の補充の方法等）		
		実技検査等				2段階選抜			実技検査等								
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階選抜を行いその合格者について更に必要な検査等を行う。 主として調査書の内容と大学入試センター試験の成績により 合格者数	選抜による 第1段階の 合格者数	定員に対する倍率 その他	個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
											実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する				外国語におけるリスニングテストを課する
教育福祉科学部	学校教育課程 （発達教育コース） （特別支援教育コース） （教科教育コース） 情報社会文化課程 （社会文化コース） （情報教育コース） 人間福祉科学課程 （社会福祉コース） （心理健康福祉コース 〈心理分野〉） （生活環境福祉コース 〈生活分野〉） （生活環境福祉コース 〈環境分野〉）	×	×	○	×	×			×	×	×	×	×	×	3月12日	追加合格	
	情報社会文化課程 （総合表現コース） 人間福祉科学課程 （心理健康福祉コース 〈スポーツ・健康分野〉）	×	○	×	×	×											
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
医学部	看護学科	×	×	○	×	×	○	約7倍	×	×	×	×	×	×			
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

【注】各欄の○は該当することを，×は該当しないことを示します。

平成 27 年度入学者選抜方法等 (推薦入試等)

選抜方法等 学部・学科等名		推薦入試					推薦入試 募集人員	AO入試 募集人員	帰国子女、社会人等 のための特別入試				備考		
		実技検査等							実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する		その他	帰国子女
		入学定員の一部について、出身 学校長の推薦に基づき、学力検 査を免除し調査書を主な資料 として判定します。													
		実技検査を課する													
教育福祉学部	学校教育課程 (発達教育コース) (教科教育コース(国語, 社会, 数学, 理科, 英語))	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	各募集人員 ごとの推薦 基準等につ いては各選 抜方法(推薦 入試, AO入 試, 帰国子女 入試, 中国引 揚者等子女 入試, 社会人 入試, 私費外 国人留学生 入試)を参照 してくださ い。		
	学校教育課程 (特別支援教育コース)					5									
	学校教育課程 (教科教育コース(保健体育選修))					2									
	学校教育課程 (教科教育コース(技術選修))					2(普通推薦) 2(工業推薦)	×	×	○	×	○				
	学校教育課程 (教科教育コース(家庭科選修))					3									
	情報社会文化課程 (社会文化コース)	×	○	○	×	×	5								
	情報社会文化課程 (情報教育コース)					5									
	人間福祉科学課程 (社会福祉コース)					5(普通推薦) 1(福祉推薦)	×	○	○	○	○				
	人間福祉科学課程 (心理健康福祉コース(心理分野))					5									
	人間福祉科学課程 (生活環境福祉コース(生活分野))					2									
	人間福祉科学課程 (生活環境福祉コース(環境分野))					2									
	学校教育課程 (教科教育コース(音楽選修))	○	○	○	×	×	2	×	×	○	×	○			
	学校教育課程 (教科教育コース(美術選修))	○	○	×	×	○	2								
	情報社会文化課程 (総合表現コース)	○	○	○	×	×	5	×	○	○	○	○			
	人間福祉科学課程(心理健康福祉コ ース(スポーツ・健康分野))						3								
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	×	○	○	×	×	50 (普通推薦) 25 (商業推薦)	5 (英語資格) 15 (簿記資格)	○	×	○	○			
医学部	医学科	×	×	×	×	×	×	22 (一般枠) 13 (地域枠)	×	×	×	×			
	看護学科	×	○	○	×	×	10	×	×	×	○	×			
工学部	機械・エネルギーシステム工学科						9(A推薦) 3(B推薦)								
	電気電子工学科						11(A推薦) 3(B推薦)								
	知能情報システム工学科	×	○	×	×	○	10(A推薦) 5(B推薦)	×	○	×	×	○			
	応用化学科						10(A推薦) 2(B推薦)								
	福祉環境工学科(建築コース)						5(B推薦)								
	福祉環境工学科(カトクコース)						6(A推薦) 2(B推薦)								

【注】各欄の○は該当することを、×は該当しないことを示します。

(1) 一般入試

① 志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から1つ、後期日程から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

(1) 教育福祉科学部

志望できるコース・分野は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

(2) 経済学部

前期日程及び後期日程とも募集人員を一括して募集し、入学後に経済学科、経営システム学科又は地域システム学科の専攻を決定します。

(3) 医学部

志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。（ただし、医学部医学科は後期日程は実施しません。）

(4) 工学部

(ア) 志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。ただし、福祉環境工学科については、建築コースとメカトロニクスコースでコース別に募集します。したがって、第1～第3志望を選択するときは、機械・エネルギーシステム工学科、電気電子工学科、知能情報システム工学科、応用化学科、福祉環境工学科（建築コース）、福祉環境工学科（メカトロニクスコース）の中から志望順に3つまでを選択することになります。また、第1志望のみ又は第2志望まででもかまいません。

(イ) 前期日程において、第1志望の学科に必要な個別学力検査受験科目（理科）を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。

(ウ) 前期日程において、**第2志望以下での個別学力検査受験科目(理科)**は、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」のいずれでもかまいません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

② 出願資格

平成27年度大学入学者選抜「**大学入試センター試験**」で本学が指定する**教科・科目を受験した者**で、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成27年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成27年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、本学では実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

③ 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

(1) 調査書について

出身高等学校長等が作成したものとします。

(2) 過年度の大学入試センター試験成績の利用について

本学では平成27年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

(3) 第1段階選抜について

医学科及び看護学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績(傾斜後の得点)により、次のとおり第1段階選抜を行います。

①前期日程

医学科は募集人員の約3倍、看護学科は募集人員の約6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

②後期日程

看護学科は募集人員の約7倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

(4) 同点者の取り扱いについて

教育福祉科学部

それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

医学部

【前期日程】

- ・同点者がいる場合は、医学科は大学入試センター試験の数学I・数学A、(旧数学I・旧数学A)の高得点者、大学入試センター試験の外国語の高得点者の順に高順位とします。
- 看護学科は大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

【後期日程】

- ・後期日程は、看護学科のみ実施します。
- ・同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

④ 平成 27 年度入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

教科・科目名の表記方法について

1 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように略しています。

- ・国語→国
『国語』→「国」
- ・地理歴史→地歴
「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」,
「日本史B」→「日B」, 「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」
※「同一名称のA・B出題科目」とは, 「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」を指します。
- ・公民→公民
「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」,
『倫理, 政治・経済』→「倫・政経」
※「同一名称を含む出題科目」とは, 「倫理」と『倫理, 政治・経済』, 「政治・経済」と『倫理, 政治・経済』を指します。
- ・数学→数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』→「数Ⅰ・数A」,
「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 『数学Ⅱ・数学B』→「数Ⅱ・数B」,
「工業数理基礎」→「工」, 『簿記・会計』→「簿」, 『情報関係基礎』→「情報」
「旧数学Ⅰ」→「旧数Ⅰ」, 『旧数学Ⅰ・旧数学A』→「旧数Ⅰ・旧数A」,
『旧数学Ⅱ・旧数学B』→「旧数Ⅱ・旧数B」
- ・理科→理
「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地基」,
「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」
※「基礎を付した科目」とは, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。
※「基礎を付さない科目」とは, 「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。
※「同一名称を含む出題科目」とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」を指します。
「理科総合A」→「理総A」, 「理科総合B」→「理総B」
「物理Ⅰ」→「物Ⅰ」, 「化学Ⅰ」→「化Ⅰ」, 「生物Ⅰ」→「生Ⅰ」, 「地学Ⅰ」→「地学Ⅰ」
- ・外国語→外
『英語』→「英」, 『ドイツ語』→「独」, 『フランス語』→「仏」, 『中国語』→「中」,
『韓国語』→「韓」

(注) 『 』内記載のものは, 2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 個別学力検査の出題教科・科目名は, 上記1によるほか次のように略しています。

- ・「数学A」→「数A」, 「数学B」→「数B」, 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」
- ・「英語Ⅰ」→「英Ⅰ」, 「英語Ⅱ」→「英Ⅱ」

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜		
教育福祉 科学部 〔5.6〕 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	発達教育 25人 前期 19 後期 6	前期 2月25日	国	国	外 その他	英Ⅱ 小論文		
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B				}から2 ※2
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
		数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4	} ①又は②				
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から1 ※4					
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
	特別支援 教育	前期 2月25日	国 数 外 その他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 英Ⅱ 小論文	}から1 ※5	面接		
			その他	面接				
	教科教育 65人 前期 41 後期 11 推薦 13	前期 2月25日	国	国	国 その他	国 小論文	※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」 数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」	
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4				}から1又は2 ※2
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B				
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経					
理		①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から2 ※4	} ※1					
その他		社会認識を問う問題 小論文						
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	数 その他		数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 小論文	※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」			

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④
- ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
- ※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。
- ※5 教育福祉科学部の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査					100		100				200	
計	100	100	100	50	200		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	追加合格
個別学力検査								100			100	
計	100	100	100	50	100			100			550	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	[100]※5		[100]※5		[100]※5		100				200	
計	200		100		100						650	
	100	100	200	50	100	100						
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	追加合格
個別学力検査								100			100	
計	100	100	100	50	100			100			550	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	100						100				200	
計	200	100 50	100	50 100	100		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査		社会調査 100					100				200	
計	100	200 150	100	50 100	100		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査			100				100				200	
計	100	100 50	200	50 100	100		100				650	

一般入試

学部・課程・学科等名及び入学定員等 〔平成26年度〕 志願倍率	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査		2段階選抜		
		教科	科目名等	教科等	科目名等			
教育福祉 科学部 [5.6] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	学校教育課程 65人 前期 41 後期 11 推薦 13	前期 2月25日	国	国	理 物基・物化基・化生基・生地基・地学 } から1 その他 小論文			
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4				
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2				
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2				
			前期 2月25日 と26日	理 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から2 ※4			※1	
							その他	実技(音楽) 小論文
							その他	実技(美術) 小論文
							その他	実技(保健体育) 小論文
			前期 2月25日	外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]			その他	生活認識を問う問題 小論文
							外 その他	英Ⅱ 小論文
その他	面接							
後期 3月12日	国 国 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数 数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4 理 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から1 } ①又は② ※4 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]	国 外	国 英Ⅱ ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」					
		その他	面接					
		国	国					
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1					
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2					
後期 3月12日	外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科3科目]	その他	面接					
		その他	面接					

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④
 ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
 ※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	100 50	100	150 200	100		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100	100			200	
計	100	100 50	100	50 100	100		100	100			650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100	100			200	
計	100	100 50	100	50 100	100		100	100			650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100	100			200	
計	100	100 50	100	50 100	100		100	100			650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100	100			200	
計	100	100 50	100	50 100	200		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100				100			100	
計	100	100 50	100	50 100	100			100			550	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査	100				100						200	
計	200	100	100	50	200						650	
センター試験	150	(100)			150						400	追加合格
個別学力検査								100			100	
計	150	100			150			100			500	

一般入試

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査						
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜				
教育福祉 科学部 〔5.6〕 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	情報教育 20人 前期 11 後期 4 推薦 5	前期 2月25日	国	国	外国 数	英Ⅱ 国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 ※5 ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ、 現代文、古典」 数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」				
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1						
			公民	現社、倫、政経、倫・政経 } から1						
			数	数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4						
			理	③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※7 ④物、化、生、地学、(理総A、理総B、 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ)から2 ※4 } ③又は④						
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目]						
	情報社会文化課程	後期 3月12日	国	国	その他	面接				
			数	数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4						
			理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学、(理総A、理総B、 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ)から1 ※4 } ①又は②						
			外	英、独、仏、中、韓から1 [4教科5～6科目]						
			総合表現	前期			国	国	その他	実技
			15人 前期 7 後期 3 推薦 5	2月26日			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1		
公民	現社、倫、政経、倫・政経 } から1									
理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学、(理総A、理総B、 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ)から1 ※4 } ①又は② ※6									
数	数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)、 数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報 ※4 } から2									
外	英、独、仏、中、韓から1 [3教科3～4科目]									
人間福祉科学課程	社会福祉 35人 前期 24 後期 5 推薦 6	前期 2月25日	国	国	外 その他	英Ⅱ 小論文				
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から2 ※2						
			公民	現社、倫、政経、倫・政経 } から1						
			数	数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4						
			後期	3月12日			理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学、(理総A、理総B、 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰ)から1 ※4 } ①又は②		
後期 3月12日	外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]								

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 ※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。
 ※5 教育福祉科学部の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。
 ※6 「地理歴史」及び「公民」から1科目、「理科」の①若しくは②又は「数学」から2科目
 ※7 「理科」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、出願資格を満たさないこととなります。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	(50)	50×2	③25×2+50 ④50×2	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査	[100]※5		[100]※5		100						200	
計	200 100	50	100 200	100	200						650	
センター試験	100		50×2	①(25×2) ②(50)	150						400	
個別学力検査								100			100	
計	100		100	50	150			100			500	
センター試験	100	(100)	(50×2)	①(50×2) ②(100)	100						300	
個別学力検査								350			350	
計	100	100	100	100	100			350			650	
センター試験	100				100						200	
個別学力検査								300			300	
計	100				100			300			500	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査					100		100				200	
計	100	100	100	50	200		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査								150			150	
計	100	100	100	50	100			150			600	

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
教育福祉 科学部 [5.6] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	心理 健康 福祉 30人 前期 14 後期 8 推薦 8	前期 2月25日	国	国	国 数 外 其他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」	
			地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から2 ※2			
			公民	現社，倫，政経，倫・政経 } から2 ※2			
		数	数Ⅰ・数A，(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B，(旧数Ⅱ・旧数B)， 工，簿，情報から1 ※4				
		理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から1 } ①又は② ※4				
		外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	スポーツ ・ 健康 分野	前期 2月25日 と26日	国	国	国 数 外 其他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 実技 ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」	
			数	数Ⅰ・数A，(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B，(旧数Ⅱ・旧数B)， 工，簿，情報から1 ※4			
			地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から1又は2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経 } ※2				
		理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から1 } ※1 ③物基，化基，生基，地基から2と 物，化，生，地学から1 ※3 ④物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から2 ※4				
		外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
生活 環境 福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4	前期 2月25日	国	国	国 数 外 其他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」		
		数	数Ⅰ・数A，(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B，(旧数Ⅱ・旧数B)， 工，簿，情報から1 ※4				
		地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から1又は2				
	公民	現社，倫，政経，倫・政経 } ※2					
	理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から1 } ※1 ③物基，化基，生基，地基から2と 物，化，生，地学から1 ※3 ④物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から2 ※4					
	外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
生活 環境 福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4	後期 3月12日	国	国	国 数 外 其他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 小論文 ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」		
		数	数Ⅰ・数A，(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B，(旧数Ⅱ・旧数B)， 工，簿，情報から1 ※4				
		地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から1又は2				
	公民	現社，倫，政経，倫・政経 } ※2					
	理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から1 } ※1 ③物基，化基，生基，地基から2と 物，化，生，地学から1 ※3 ④物，化，生，地学，(理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ)から2 ※4					
	外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④
- ※2 「地理歴史」においては，同一名称のA・B出題科目，「公民」においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において，同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は，「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は，出願資格を満たさないこととなります。
- ※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。
- ※5 教育福祉科学部の個別学力検査の〔 〕で示した配点は，複数の教科・科目を受験できますが，最も高得点のものを合否判定に使用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	その他の 入試方法等
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査	[100]※5		[100]※5		[100]※5		100				200	
計	200	100	100	50	100		100				650	
	100		200		200							
	100		100		200							
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査								150			150	
計	100	100	100	50	100			150			600	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査	[100]※5		[100]※5		[100]※5		100				200	
計	200	100	100	50	100		100				650	
	100		200		200							
	100		100		200							
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査								150			150	
計	100	100	100	50	100			150			600	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	[100]※5		[100]※5		[100]※5		100				200	
計	200	100	100	50	100		100				650	
	200	50	100	100	100							
	100	100	200	50	100							
	100	50	200	100	100							
	100	100	100	50	200							
100	50	100	100	200								
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	
個別学力検査								150			150	
計	100	100 50	100	50 100	100			150			600	

一般入試

学部・課程・学科等名及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
教育福祉科学部 [5.6] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51 人間福祉科学課程 生活環境福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4 環境分野	前期	2月 25日	国	国	理	物基・物化基・化生基・生地基・地学小論文 } から1	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1	その他		
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4			
3月 12日	理	③物基, 化基, 生基, 地基から2と物, 化, 生, 地学から1 ※7 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から2 ※4 } ③又は④	その他	面接			
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目]					
経済学部 [4.7] 305人 前期 120 後期 90 AO 20 推薦 75 経済学科 経営システム学科 地域システム学科	前期	2月 25日	国	国	数外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング } ※8	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2 ※2	その他	小論文	
			数	数Ⅰ, (旧数Ⅰ), 数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4			
		理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から1 ※4 } ①又は②				
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]				
	3月 12日	国	国	その他	小論文		
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2				
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2 ※2					
	数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A), 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報 } から1 ※4					
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [4教科5科目又は5教科5科目]					
医学部 [4.8] 160人 前期 100 後期 15 AO 35 推薦 10 医学科 100人 前期 65 AO 35 看護学科 60人 前期 35 後期 15 推薦 10	前期	2月 25日	国	国	理	物基・物化基・化生基・生 } から2	約3倍
			地歴	世B, 日B, 地理B } から1			
			公民	倫・政経 } から1	数外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英Ⅱ・リーディング・ライティング 面接 ※数Bは「数列, ベクトル」	
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4			
	2月 26日	理	物, 化, 生, (物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ)から2 ※4				
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]				
	前期	2月 25日	国	国	その他	小論文	約6倍
			地歴	世B, 日B, 地理B } から1			
		公民	倫・政経 } から1	その他	面接	約7倍	
		数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A), 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報 } から1 ※4				
3月 12日	理	物, 化, 生, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ)から1 ※4					
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]					

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 ※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ」「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。
 ※7 「理科」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、出願資格を満たさないこととなります。
 ※8 経済学部の個別学力検査及び計の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した科目の得点を合否判定に使用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	(50)	50×2	③25×2+50 ④50×2	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	50	100	200	100		100				650	
センター試験	100	(50)	50×2	③25×2+50 ④50×2	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	50	100	100	100				150		600	
センター試験	100	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200						800	AO入試 推薦 帰国子女 社会人 私費外国人 追加合格
個別学力検査			[200]×8		<200>×8						200	
計	100	200	[400]×8 <200>×8	(100)	[200]×8 <400>×8						1000	
センター試験	100	100×2	(100)		100						500	
個別学力検査							200				200	
計	100	200	(100)		100		200				700	
センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100						450	AO入試 追加合格
個別学力検査			100	100×2	100				200		600	
計	100	50	200	300	200				200		1050	
センター試験	100	(50)	(100)	(100)	100						450	推薦 社会人 追加合格
個別学力検査							100				100	
計	100	50	100	100	100		100				550	
センター試験	100	(50)	(100)	(100)	100						450	
個別学力検査									100		100	
計	100	50	100	100	100				100		550	

◎36～40 ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
工学部 [4.2] 370人 前期 238 後期 66 推薦 66 機械・エネ ルギーシ ステム工 学科 80人 前期 53 後期 15 推薦 12 電気電子工 学科 80人 前期 52 後期 14 推薦 14	前期 2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1			
		数	数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4			
		理	物、(物Ⅰ) ※4 化、(化Ⅰ) ※4			
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			
	後期 3月12日	国	国	その他	面接	
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1			
		数	数Ⅰ、(旧数Ⅰ)、数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4			
		理	物、(物Ⅰ) ※4 化、(化Ⅰ) ※4			
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			
知能情報 システム工 学科 70人 前期 44 後期 11 推薦 15 応用化学科 60人 前期 38 後期 10 推薦 12 福祉環境工 学科 建築 50人 幼保 30人 計 80人 前期 51 建築 35 幼保 16 後期 16 建築 10 幼保 6 推薦 13 建築 5 幼保 8	前期 2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1			
		数	数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4			
		理	物、(物Ⅰ) ※4 化、(化Ⅰ) ※4			
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			
	後期 3月12日	国	国	その他	面接	
		地歴 公民	世B、日B、地理B 倫・政経 } から1			
		数	数Ⅰ、(旧数Ⅰ)、数Ⅰ・数A、(旧数Ⅰ・旧数A)から1 ※4 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、(旧数Ⅱ・旧数B)、 工、簿、情報から1 ※4			
		理	物、(物Ⅰ) ※4 化、(化Ⅰ) ※4			
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			

※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ」「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「物Ⅰ」「化Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の 入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	150	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 帰国子女 私費外国人 追加合格
個別学力検査			200	200							400	
計	150	75	300	300	200						1025	
センター試験	125	(75)	150×2	100×2	200						900	推薦 帰国子女 私費外国人 追加合格
個別学力検査									200		200	
計	125	75	300	200	200				200		1100	
センター試験	150	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 帰国子女 私費外国人 追加合格
個別学力検査			200	200							400	
計	150	75	300	300	200						1025	
センター試験	125	(75)	150×2	100×2	200						900	推薦 帰国子女 私費外国人 追加合格
個別学力検査									200		200	
計	125	75	300	200	200				200		1100	

◎各欄の注意事項

全学部共通事項

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- (1) 「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングテストを免除された者は除く）。
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、24～35ページの表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。
- (2) 「工業数理基礎」、 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限りします。
- (3) 「旧数学Ⅰ」、 「旧数学Ⅰ・旧数学A」、 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、 「理科総合A」、 「理科総合B」、 「物理Ⅰ」、 「化学Ⅰ」、 「生物Ⅰ」及び「地学Ⅰ」は、「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

【その他】

- (1) 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。
- (2) 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

教育福祉科学部

【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

- ・前期日程の入学定員には、帰国子女入試（若干名）、中国引揚者等子女入試（若干名）、社会人入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）を含みます。ただし、学校教育課程及び人間福祉科学課程生活環境福祉コースにおいては、中国引揚者等子女入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）のみを含みます。

【個別学力検査】欄

【前期日程】

- (1) 学校教育課程教科教育コースを志望する者は、教科等の組合せから1つを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。
- (2) 小論文は、現代社会が抱えるさまざまな課題について、基礎的理解力、論理的・科学的思考力や文章表現力などを問います。
- (3) 実技検査の内容は、41～42ページのとおりです。
- (4) 理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
 - (エ) 地学は、「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

【後期日程】

- (1) 面接は、募集単位（志願したコース・選修・分野）ごとに、個人面接と集団面接のいずれか、あるいはそれらの両方を行います。
複数の面接員により、個人面接では募集単位への関心、意欲、理解力及び自己表現力などをみます。集団面接では、出題されたテーマ・課題について、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力、自身の考え・意見の表現力ならびに他者の意見に対する理解力等コミュニケーションに関する能力などをみます。
- (2) 実技検査の内容は、43ページのとおりです。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 大学入試センター試験の()で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
(ア) 地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1	「地理歴史」及び「公民」の科目において、本学が指定する科目を1科目としている場合に2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
(イ) 理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I)から1 ※4 ※4 科目名等の()内の「理総A」「理総B」「物I」「化I」「生I」「地学I」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。	理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点を合否判定に使用</div> </div> (b) 「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">第1解答科目</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">第2解答科目</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第1解答科目の得点を合否判定に使用</div> </div>
(ウ) 地歴 公民 理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1又は2 ※2 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I)から1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I)から2 ※4 ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①若しくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③若しくは④ ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。 ※4 科目名等の()内の「理総A」「理総B」「物I」「化I」「生I」「地学I」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点の2つ = 合否判定に使用する得点</div> </div> ただし、理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点の得点 = 合否判定に使用する得点</div> </div> (b) 「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点の得点 = 合否判定に使用する得点</div> </div>

教科	科目名等	配点の取扱い
(エ) 地歴 公民 理 数	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I)から1 } ①又は② ※6 ※4 数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) } から2 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B) } 工, 簿, 情報 ※4	受験した科目の下記の得点のうち最高得点を合否判定に使用。 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」の第1解答科目 「数学」2科目の合計点 最高得点を合否判定に使用
※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物I」「化I」「生I」「地学I」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。 ※6 「地理歴史」及び「公民」から1科目、「理科」の①若しくは②又は「数学」から2科目		

(2) 前期日程の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

経済学部

【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

・後期日程の入学定員には、帰国子女入試（若干名）、社会人入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）を含みます。

【個別学力検査】欄

【後期日程】

・小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学の素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力（あるいは大意把握力） (b) 論理的思考力 (c) 表現力

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 大学入試センター試験及び計の()で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
(ア) 理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I)から1 } ①又は② ※4	前期日程の理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 高得点の得点を合否判定に使用 (b) 「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、 第1解答科目 第2解答科目 第1解答科目の得点を合否判定に使用
(イ) 数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A), 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報 } から1 ※4	後期日程の数学の科目において、2科目を受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

※4 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物I」「化I」「生I」「地学I」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

(2) 個別学力検査及び計の〔 〕と〈 〉で示した配点は、個別学力検査で選択した科目の得点を合否判定に使用します。

医学部

【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

・看護学科において、後期日程の入学定員には、社会人入試の入学定員（若干名）を含みます。

【個別学力検査】欄

【前期日程】

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (3) 医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。
- (4) 看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。

【後期日程】

・看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ・大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。
 - (ア) 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
 - (イ) 看護学科の数学の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
 - (ウ) 看護学科の理科の科目において、「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

工学部

【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

・前期日程の入学定員には、帰国子女入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）を含みます。

【個別学力検査】欄

【前期日程】

- (1) 第1志望の学科に必要な個別学力検査受験科目（理科）を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。
- (2) 第2志望以下の個別学力検査受験科目（理科）は、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」のいずれでもかまいません。
- (3) 理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

【後期日程】

・面接では志望学科やそれに関わる分野への関心、意欲、積極性、理解力、自己表現力をみます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ・大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

地理歴史及び公民の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

◎旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について

平成 27 年度一般入試・医学部医学科 A O 入試における旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置は、次のとおりです。

大学入試センター試験の数学，理科の科目について

旧教育課程履修者については，24～35 ページ及び 52 ページの表の【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄において（ ）内に記載した「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」で受験することを認めます。

個別学力検査の出題教科・科目について

個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では，旧教育課程履修者に不利益が生じることがないように配慮します。

新・旧教育課程履修者について

新教育課程履修者 (数学，理科)	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成 24 年 4 月に入学し，数学，理科に関し新教育課程を履修し，平成 27 年 3 月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成 24 年 4 月に進級し，数学，理科に関し新教育課程を履修し，平成 27 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 高等学校等卒業者，高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込み者，大学入学資格検定合格者，高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込み者，外国の学校等修了者又は修了見込み者，在外教育施設修了者又は修了見込み者，及び高等学校等を平成 27 年 3 月卒業見込みであるが，入学は平成 24 年 3 月以前の者など，上記に該当しない者

【注】「新教育課程」とは，平成 25 年 4 月 1 日から適用された高等学校学習指導要領（平成 21 年文部科学省告示第 34 号）に基づく教育課程及び平成 21 年 3 月 9 日文部科学省告示第 38 号の特例により定められた教育課程をいい，「旧教育課程」とは，従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。

⑤ 一般入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）

(1) 前期日程実技検査の内容

(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該課程・コース・分野に関わる資質を評価します。)

課程等	検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
学 校 教 育 課 程 音 楽 音 楽 コ ー ス	<p>◎全項目必須です。</p> <p>1. コールユーブンゲン コールユーブンゲン第1巻, No. 39~71(原書番号)の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p>2. 声楽 次の歌曲の中から1曲を選び, 暗譜, 原語で歌ってください。 (歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上, 入学志願書とともに提出してください。なお, 移調を希望する場合は, 曲目調査票の当該欄に○を付け, 伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。)</p> <p>* Nel cor più non mi sento パイズィエツロ 作曲 ヘ長調 * Caro mio ben ジョルダーニ 作曲 変ホ長調 * Intorno all'idol mio チェステイ 作曲 ホ短調 * 叱られて 弘田 竜太郎 作曲 変イ長調</p> <p>3. 器楽(ピアノ) ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び, 第1楽章又は終楽章(ただし, 緩徐な楽章は除きます。)を暗譜, 繰り返しなしで演奏してください。 (演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は, 所定の曲目調査票に記入の上, 入学志願書とともに提出してください。)</p>	
	美術 B3画用紙に鉛筆によるデッサンを行います。モチーフは当日指定します。	鉛筆 消しゴム 練りゴム
保 健 体 育	1. 基礎的運動能力(短距離走, 立ち幅とび, 反復横とび, 20mシャトルラン) 2. 身体及び用具操作の基礎的能力	運動服 屋内用スポーツシューズ 屋外用スポーツシューズ (スパイク不可)

課程等	検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
情報社会文化課程	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
	A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。創作時間は昼食を挟んで約3時間です。	表現に適した服装。床面の都合でトウシューズは使用できません。
	B. 美術表現：鉛筆により木炭紙大の用紙に描写を行います。検査時間は昼休みを挟んで10時から16時までの約5時間です。	鉛筆描写に必要な用具（カルトンと用紙は本学が準備します。）
総合表現コース	<p>C. 音楽表現：次の2つの検査を行います。</p> <p><u>1. コールユーブンゲン</u> コールユーブンゲン第1巻, No. 45～71（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p><u>2. 音楽による自己表現</u> 演奏の場合は，任意の楽曲を1曲選び，暗譜で演奏してください。演奏手段は，声楽，ピアノのいずれかです。作曲の場合は，自作品を1曲以上提出し，試験日当日にその作品について説明してください。</p> <p>※ 演奏の場合は，本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し，入学志願書とともに提出してください。</p> <p>※ 声楽の場合は，志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を，入学志願書，曲目調査票とともに提出してください（伴奏者は本学が用意します）。</p> <p>※ 作曲の場合は，自作品を入学志願書とともに提出してください。作品の提出は原則として楽譜（コピー楽譜可）によるものとしませんが，楽譜ではなく録音・映像等によって記録された作品である場合（たとえばコンピュータ音楽など）は，CDやDVDなどのメディアを提出してください。</p> <p>なお，CDは一般の日本製CDプレイヤーで再生可能な録音形式，DVDは一般の日本製プレイヤーで再生可能なビデオ形式にしてください（DVDの場合，必ずファイナライズ処理を行ってください）。</p>	
人間福祉科学課程	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】 実技検査で昼食が必要な場合には，検査時間中に昼食時間帯を設けますので，検査場に昼食を持参してください。

【注2】 実技検査等の内容に関する問い合わせについては，出題に抵触する場合がありますので，この内容以外のことはお答えできません。

(2) 後期日程実技検査の内容

(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該課程・コース・分野に関わる資質を評価します。)

課程等	検査の内容	検査当日持参するもの
<p>情報 総合 社会 表現 文化 課 程</p>	<p>検査室内の約5m×5m、天井までの高さ約3mの空間で、自由な方法やテーマでの自己表現を行います。</p> <p>(1) 検査方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査は検査室に1人ずつ入室して行います。 ・入室してから表現を完了し、退室するまでの検査時間は8分以内です。 ・自分や他人に対して危険なことや器物を損壊するようなこと、その他きわめて非常識と思われることは禁止します。 ・あらかじめ制作、創作した作品を発表してもかまいません。 ・表現に使用する用具や材料は各自で準備し、持参してください。 <p>(2) 検査室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流100V、15Aの電源を使用することができます。 ・検査室にはピアノがあり、それを使用することができます。 ・検査室には土足で入室できませんが、自分の表現に適した上履きを用いてもかまいません。 ・録音した音楽や音などを使用する場合は各自再生器材を持参してください。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査室には、机・椅子がありますが、これらを自己表現の素材として使用することはできません。 	<p>ピアノ以外の表現に使用する用具や素材は各自持参してください。</p>
<p>人間福祉科学課程 (スポーツ・健康分野 心理健康福祉コース)</p>	<p>与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。</p>	<p>運動服 屋内用スポーツシューズ</p>

【注1】 実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のご回答はできません。

【注2】 総合表現コースの実技検査内容は、前期日程と後期日程では異なっていますので、十分注意してください。

(2) 推薦入試

① 推薦要件

次の各号に該当する者で、高等学校長、中等教育学校長、特別支援学校長及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の長が責任をもって推薦できる者

- 1 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等（以下「高等学校等」という。）を平成27年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成26年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。）
- 2 **合格した場合は、入学することを確約できる者**
- 3 次表（推薦入試募集人員・推薦要件・検査項目一覧表）の各学部・課程・学科・コース等の掲げる推薦要件を満たす者

② 入学者選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、次表の検査項目及び調査書、志望理由書、推薦書、スポーツ等に関する調査書（教育福祉科学部学校教育課程教科教育コース保健体育選修のみ）に基づいて総合判定します。

推薦入試募集人員・推薦要件・検査項目一覧表

学部	課程・学科・コース等		推薦区分	募集人員	推薦人員	推薦要件	検査項目	
教育福祉科学部	特別支援教育コース			5	各高等学校等から2名以内	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、本コースの学習に熱意を有する者	小論文 面接	
	教科教育コース	音楽選修		2	各高等学校等から2名以内	(1) 本選修への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本選修の学習に熱意を有する者	小論文 実技 面接	
		美術選修		2	各高等学校等から2名以内	(1) 本選修への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本選修の学習に熱意を有する者	実技 面接 作品審査	
		保健体育選修		2	各高等学校等から2名以内	(1) 本選修への専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、本選修の学習に熱意を有する者	小論文 面接	
		技術選修	普通推薦	【注1】	2	各高等学校等から2名以内	(1) 本選修への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本選修の学習に熱意を有する者	小論文 面接
			工業推薦	【注1】	2		(1) 本選修への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の工業に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者。ただし、総合学科を卒業見込みの者については、 工業に関する教科・科目を20単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、かつ、本選修の学習に熱意を有する者	
	家庭科選修		3	各高等学校等から2名以内	(1) 本選修への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本選修の学習に熱意を有する者	小論文 面接		
小計			18					

学部	課程・学科・コース等		推薦区分	募集人員	推薦人員	推薦要件	検査項目
情報 社会文化 課程	社会文化コース			5	各高等学校等から2名以内	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、本コースの学習に熱意を有する者	小論文 面接
	情報教育コース			5	各高等学校等から2名以内	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、本コースの学習に熱意を有する者	小論文 面接
	総合表現コース			5	制限なし	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本コースの学習に熱意を有する者	小論文 面接 実技 (美術表現は作品審査)
	小計			15			
教育 福祉 人間 科学 部 課程	社会福祉コース		普通推薦	5	各高等学校等から2名以内	(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、社会福祉に強い関心と実践的な意欲を有する者	小論文 面接
			福祉推薦	1		(1) 本コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 福祉に関する学科・課程又はその他の学科 を卒業見込みの者。ただし、次のいずれかに該当する者 ① 文部科学省が指定する「福祉系高等学校等」「特例高等学校等」において「教科福祉」に含まれる科目をすべて履修し卒業見込みの者（＝介護福祉士受験資格を取得見込みの者）、② ①以外の高等学校で福祉関係のコースや課程、系列において、当該高等学校が設置する科目を履修して「介護職員基礎研修」「介護職員初任者研修」を修了し、もしくは「訪問介護員1級」あるいは「訪問介護員2級」の資格を取得し卒業見込みの者 (3) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (4) 人物的に優れ、かつ、社会福祉に強い関心と実践的な意欲を有する者	
	心理健康福祉コース	心理分野		5	各高等学校等から1名	(1) 本分野への専攻の意志が強い者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 人物的に優れ、かつ、本分野の学習に熱意を有する者	小論文 面接
		スポーツ・健康分野		3	各高等学校等から2名以内	(1) 本分野への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本分野の学習に熱意を有する者	小論文 面接 実技
	生活環境福祉コース	生活分野		2	制限なし	(1) 本分野への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 高等学校等において、「家庭基礎」「家庭総合」「生活技術」などの普通教育に関する科目を除く、「消費生活」「発達と保育」「家庭看護・福祉」「リビングデザイン」「服飾文化」「フードデザイン」などの 家庭に関する専門科目を12単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (4) 人物的に優れ、かつ、本分野の学習に熱意を有する者	小論文 面接
		環境分野		2	各高等学校等から2名以内	(1) 本分野への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 人物的に優れ、かつ、本分野の学習に熱意を有する者	小論文 面接
	小計			18			
	計			51			

学部	課程・学科・コース等	推薦区分	募集人員	推薦人員	推薦要件	検査項目
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 【注2】	普通推薦	50	各高等学校等から4名以内	(1) 高等学校等の普通科又はその他の学科で本学が普通科に準ずると認める学科・課程（いわゆる職業教育を主とする学科以外の学科）を卒業見込みの者 (2) 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 校内外を問わず自主的勉学ないし活動において特に優れた成果をあげている者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	小論文 面接
		商業推薦	25	制限なし	(1) 高等学校等の商業に関する学科・課程又はその他の学科を卒業見込みの者。ただし、 商業に関する学科・課程以外 を卒業見込みの者については、 商業に関する教科・科目を20単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (2) 高等学校等の最終年次における成績が 上位10%以内 の者 (3) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	面接 小論文
	計	75				
医学部	看護学科		10	各高等学校等から2名以内	(1) 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 ※④に該当する者については、調査書に④と表示してください。 (2) 看護職者あるいは看護学研究者として活躍しようとする、はっきりした目的意識を持ち、他者への思いやりと共感、生涯学習への意志と体力を持った者	小論文 面接
計			10			
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	A推薦	9		(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 高等学校等において「物理」を履修している者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	基礎能力試験 面接
		B推薦	3	各高等学校等からA推薦、B推薦合わせて4名以内	(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 機械又は電気 に関する学科・課程又は 総合学科 を卒業見込みの者。ただし、 総合学科 を卒業見込みの者については、 工業に関する教科・科目を20単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	

学部	課程・学科・コース等	推薦区分	募集人員	推薦人員	推薦要件	検査項目	
工 学 部	電気電子工学科	A推薦	11	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内	(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者, 又は特に物理が優秀な者 (3) 高等学校等において「物理」を履修している者 (4) 人物的に優れ, 本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	基礎能力試験 面接	
		B推薦	3		(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 電気又は電子 に関する学科・課程又は 総合学科 を卒業見込みの者。ただし, 総合学科 を卒業見込みの者については, 工業に関する教科・科目を20単位以上 修得した(見込みを含む。)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者, 又は特に物理が優秀な者 (4) 人物的に優れ, 本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者		
	知能情報システム工学科	A推薦	10	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内	(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (4) 人物的に優れ, 本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	基礎能力試験 面接	
		B推薦	5		(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 情報又は計算機 に関する 工業系 の学科・課程又は 総合学科 を卒業見込みの者。ただし, 総合学科 を卒業見込みの者については, 情報又は計算機に関する科目を8単位以上を含む工業に関する教科・科目を20単位以上 修得した(見込みを含む。)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ, 本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者		
	応用化学科		A推薦	10	制限なし	(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀で, 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (3) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (4) 人物的に優れ, 本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	基礎能力試験 面接
			B推薦	2		(1) 本学科への専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 化学 に関する学科・課程又は 総合学科 を卒業見込みの者。ただし, 総合学科 を卒業見込みの者については, 工業に関する教科・科目を20単位以上 修得した(見込みを含む。)者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で, 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (4) 人物的に優れ, 本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	

学部	課程・学科・コース等		推薦区分	募集人員	推薦人員	推薦要件	検査項目
工 学 部	福祉環境工学科 【注3】	建築コース	B推薦 【注4】	5	制限なし	(1) 本学科・コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 建築系又は土木系 の学科・課程又は 総合学科 を卒業見込みの者。ただし、 総合学科 を卒業見込みの者については、 建築又は土木に関する教科・科目を20単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	基礎能力試験 面接
		メカトロニクスコース	A推薦	6	制限なし	(1) 本学科・コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (3) 高等学校等において「物理」又は「化学」を履修している者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	基礎能力試験 面接
			B推薦 【注4】	2		(1) 本学科・コースへの専攻の意志が強い者 (2) 高等学校等の 機械系、電気系 の学科・課程又は 総合学科 を卒業見込みの者。ただし、 総合学科 を卒業見込みの者については、 機械、電気に関する教科・科目を20単位以上 修得した（見込みを含む。）者 (3) 高等学校等の学習成績が優秀な者 (4) 人物的に優れ、本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者	
計				66			
合 計				202			

【注1】教育福祉科学部教科教育コース技術選修の合格者がそれぞれの募集人員に達しない場合には、合計4名を募集人員として選抜します。

【注2】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注3】工学部福祉環境工学科には建築コース（入学定員50名）とメカトロニクスコース（入学定員30名）の2コースがあります。推薦入試の合格者は、入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。

【注4】工学部福祉環境工学科のB推薦において、出身学校の課程・学科、履修科目と希望コースが整合しているかどうか疑問の場合は、事前に入試課へ申し出てください。

③ 出願期間

平成26年11月4日（火）～7日（金）

④ 選抜期日

平成26年11月22日（土）

⑤ 合格者発表

平成26年12月5日（金）

⑥ 推薦入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）

表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該課程・コース・選修・分野に関わる資質を評価します。

課程等		検査項目及び検査の内容																				
学 校 教 科 教 育 コ ー ス 程	音楽 選 修	<p>1. 基礎検査（全員必須） コールユーブンゲン第1巻，No. 39～85（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。 固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p>2. 音楽表現の審査 ピアノ，声楽，作曲のいずれかを選択してください。</p> <p>○ピアノ ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び，第1楽章又は終楽章（ただし，緩徐な楽章は除きます。）を暗譜，繰り返しなしで演奏してください。 （演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は，所定の曲目調査票に記入の上，入学志願書とともに提出してください。）</p> <p>○声楽 次の歌曲の中から1曲を選び，暗譜，原語で歌ってください。 （歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上，入学志願書とともに提出してください。なお，移調を希望する場合は，曲目調査票の当該欄に○を付け，伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">Tu lo sai</td> <td style="text-align: center;">G.トレッリ</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">ホ長調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">Se Florindo è fedele</td> <td style="text-align: center;">A.スカルラッティ</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">変イ長調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">Già il sole dal Gange</td> <td style="text-align: center;">A.スカルラッティ</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">変イ長調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">早春賦</td> <td style="text-align: center;">中田 章</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">へ長調</td> </tr> </table> <p>（注：試験当日の前奏は，歌が始まる4小節前からとします。）</p> <p>○作曲 (1) 出願時に自作品の楽譜（形式，編成は自由。楽譜はコピーでも可。）を1曲以上，入学志願書とともに提出してください。 （提出する作品の曲名を所定の曲目調査票に記入の上，入学志願書とともに提出してください。） (2) 検査当日，提示されたモチーフに基づくピアノ曲（形式，長さは自由）の作曲をしてください。（所要時間90分）</p>	*	Tu lo sai	G.トレッリ	作曲	ホ長調	*	Se Florindo è fedele	A.スカルラッティ	作曲	変イ長調	*	Già il sole dal Gange	A.スカルラッティ	作曲	変イ長調	*	早春賦	中田 章	作曲	へ長調
	*	Tu lo sai	G.トレッリ	作曲	ホ長調																	
*	Se Florindo è fedele	A.スカルラッティ	作曲	変イ長調																		
*	Già il sole dal Gange	A.スカルラッティ	作曲	変イ長調																		
*	早春賦	中田 章	作曲	へ長調																		
美術 選 修	<p>1. 簡単な実技検査：B3画用紙に鉛筆によるデッサンを行います。 モチーフは当日指定します。 ※鉛筆，消しゴムと練りゴムを持参してください。</p> <p>2. 本人持参の作品審査（作品に関する簡単な質疑応答があります。） ・持参（審査）する作品数は2点。その他参考資料として，審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。 ・提出作品のジャンル，形式は問いません。1点の作品の大きさは，高さ180cm×幅150cm×奥行150cmの範囲とします。（例：デッサン，水彩画，油彩画，版画，彫刻，立体造形，デザイン，陶芸，木工，ビデオ，写真，インスタレーション等） ※本学所定の作品証明書を添付してください。 ※提出作品の運搬を配送業者に依頼する場合は，あらかじめ入試課に連絡してください。</p>																					

課程等		検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
情報 社会 文化 課程	総合 実技 コース	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
		<p>A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。</p> <p>B. 美術表現：本人持参の作品審査 (作品に関する簡単な質疑応答があります。) ・持参(審査)する作品は2点。その他参考資料として、審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。 ・提出作品の大きさ、ジャンル、形式は問いません。 (例：デッサン、陶芸、木工、ビデオ、写真、インスタレーション等) ※本学所定の作品証明書を添付してください。 ※提出作品の運搬を配送業者に依頼する場合は、あらかじめ入試課に連絡してください。</p> <p>C. 音楽表現：次の3つの検査を行います。</p> <p>1. 新曲視唱 出題された旋律を、固定ド唱法、移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p>2. 即興演奏 与えられたテーマによって1分間程度の即興演奏をしてください。演奏手段は任意に選んでかまいません。</p> <p>3. 音楽による自己表現 演奏の場合は、任意の楽曲を1曲選び、暗譜で演奏してください。演奏手段は、声楽、ピアノのいずれかです。作曲の場合は、出願時に自作品(形式、編成は自由)を1曲以上提出し、試験当日にその作品について説明してください。 ※演奏の場合は、本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し、入学志願書とともに提出してください。 ※声楽の場合は、志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を、入学志願書、曲目調査票とともに提出してください。(伴奏者は本学が用意します。) ※作曲の場合は、自作品を入学志願書とともに提出してください。作品の提出は原則として楽譜(コピー楽譜可)によるものとなりますが、楽譜ではなく録音・映像等によって記録された作品である場合(たとえばコンピュータ音楽など)は、CDやDVDなどのメディアを提出してください。なお、CDは一般の日本製CDプレイヤーで再生可能な録音形式、DVDは一般の日本製DVDプレイヤーで再生可能なビデオ形式にしてください(DVDの場合、必ずファイナライズ処理を行ってください)。提出物には志願者氏名を明記してください。</p>	<p>表現に適した服装。 床面の都合でトウシューズは使用できません。</p> <p>即興演奏でピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参してください。</p>
人間福祉科学課程	(スポーツ・健康分野) 心理健康福祉コース	実技 与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	<p>運動服</p> <p>屋内用スポーツシューズ</p>

【注1】実技検査で昼食が必要な場合には、検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

(3) アドミッション・オフィス入試(AO入試)

〔経済学部〕

〔AO入試〕

<p>実施学部 学科名</p>	<p>経済学部</p> <hr/> <p>経済学科 経営システム学科 地域システム学科</p>
<p>募集人員</p>	<p>20名（英語資格 5名，簿記資格 15名）</p>
<p>〔出願資格〕 次の（１）に該当する者で，かつ，（２）の要件を満たし，入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者です。</p> <p>（１）高等学校，中等教育学校，特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成26年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，調査書の履修科目全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>（２）次のいずれかの資格を有する者</p> <p>英語資格：実用英語技能検定（英検）2級以上 TOEICスコア480点以上 GTEC for STUDENTSスコア580点以上又はGTEC CBT スコア850点以上</p> <p>簿記資格：日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）2級以上</p>	
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選抜します。選抜方法は2段階選抜とします。</p> <p>（１）第1次選考 自己推薦書及び調査書により選抜します。 自己推薦書及び調査書では，高等学校等での学習活動（高大接続関連事業による学習活動を含む。），取得資格に関わる活動状況や今後の目標，本学入学後の勉学意欲等についてみます。 ※第1次選考の合格者数は，英語資格・簿記資格とも募集人員の3倍程度とします。</p> <p>（２）第2次選考 第1次選考の合格者を対象に，小論文及び個人面接により選抜します。 小論文では，社会科学の素材に基づく出題を行い，理解力（あるいは大意把握力），論理的思考力，表現力をみます。個人面接では，提出書類も参考にして，取得資格に関する能力，積極性，自己表現能力をみます。 なお，英語資格の個人面接では英語での質疑応答，簿記資格の個人面接では簿記（日商簿記2級相当の内容）に関する質疑応答の時間があります。</p>
<p>出願期間</p>	<p>平成26年8月18日（月）～8月22日（金）</p>
<p>選抜期日 （第2次選考）</p>	<p>平成26年9月25日（木）</p>
<p>合格者発表日</p>	<p>平成26年10月14日（火）</p>

実施学部 学科名	医学部医学科																																																											
募集人員	35名（一般枠22名，地域枠13名）																																																											
〔出願資格〕 【一般枠】	<p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成25年3月以降に卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成26年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，大学入試センター試験の実施教科・科目のうち本学が指定した教科・科目を受験し，かつ，次の要件を満たす者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 ※④に該当する者については，調査書に④と表示してください。 2. 臨床医あるいは医学研究者として活躍しようとする，明確な目的意識を持ち，病める人々への思いやりと共感，生涯学習への意志と体力を持った者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 																																																											
【地域枠】	<p>上記出願資格に加え，次の要件を満たす者です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県内の小学校又は中学校を卒業し，大学卒業後，大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で，大分県が指定するへき地医療拠点病院等で実施する体験活動（8月中の連続する3日間実施）を受けた者 <p>※ 一般枠と地域枠との併願は認められません。 ※ 平成24年8月又は平成25年8月に本体験活動を受け，「体験活動日誌」及び「体験活動感想文」を提出済の者については，本体験活動を再度受ける必要はありません。 ※ 本体験活動は，地域枠で出願するためにのみ実施するものです。</p>																																																											
選抜方法等	<p>(1) 第1次選考 一般枠，地域枠ともに，大学入試センター試験の成績により第1次選考（一般枠，地域枠ともに募集人員の約2.5倍）を行い，第2次選考の対象者を決定します。</p> <p>(2) 第2次選考 一般枠，地域枠ともに，面接（個人面接及び集団面接）を行い，自己推薦書，調査書，特別活動に関する調査書及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価し，合格者を決定します。 なお，同点者がいる場合は，大学入試センター試験の総得点の高得点者，大学入試センター試験の理科の高得点者の順に高順位とします。</p>																																																											
	<p>実施教科・科目等及び配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> <th colspan="8">大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>試験の区分</th> <th>国語</th> <th>地理歴史 公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>センター試験</td> <td>100</td> <td>(50)</td> <td>50×2</td> <td>50×2</td> <td>100</td> <td></td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>世B，日B，地理B 倫・政経 } から1</td> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>540</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>100</td> <td>50</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>540</td> <td>990</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 科目名等の()内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。</p>										大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								教科	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	面接	合計	国	国	センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100		450	地歴 公民	世B，日B，地理B 倫・政経 } から1	個別学力検査等						540	540			計	100	50	100	100	100	540	990
	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																																																									
	教科	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	面接	合計																																																		
	国	国	センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100		450																																																		
地歴 公民	世B，日B，地理B 倫・政経 } から1	個別学力検査等						540	540																																																			
		計	100	50	100	100	100	540	990																																																			
<p>【注1】 「地理歴史」及び「公民」の科目において，2科目受験した場合は，第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお，第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は，出願資格を満たさないこととなりますので，第1解答科目は，必ず本学が指定する科目の中から選択してください。</p> <p>【注2】 「英語」はリスニングテストを含みます。筆記試験とリスニングテストの双方を受験してください（リスニングテストを免除された者は除く）。「英語」の成績は，筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し，他の外国語と比較できるようにします。なお，入学者選抜の配点にあたっては，上記の表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし，リスニングテストを免除された者については，筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。</p> <p>【注3】 本学では平成27年度の入学試験において，大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。</p>																																																												
出願期間	<p>平成26年11月4日（火）～11月7日（金） （へき地医療拠点病院等体験活動の申込期間（地域枠のみ）） 平成26年7月1日（火）～7月8日（火）（土日を除く）</p>																																																											
選抜期日 （第2次選考）	<p>平成27年2月8日（日） 午前の部：9時00分～ 午後の部：13時00分～</p>																																																											
合格者発表日	平成27年2月11日（水）																																																											
その他	<p>地域枠で入学した学生全員に，大分県医師修学資金が貸与されます。大学卒業後，大分県知事の指定する医療機関において，貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間を医師として勤務した場合，全額返還を免除します。</p>																																																											

AO入試

(4) 帰国子女入試

	教育福祉科学部	経済学部	工学部			
実施学部 学科等名	情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース (心理分野, スポーツ・健康分野)	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	機械・エネルギー システム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注】			
募集人員	若干名(定員内)	若干名(定員内)	若干名(定員内)			
[出願資格] 日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次のいずれかに該当する者です。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の正規の学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育期間を含みません。)を2013年4月1日から2015年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者で、外国において最終の学年を含め2年以上継続して正規の学校教育を受けているもの ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。 2. 外国及び国内において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を2013年又は2014年に授与された者で、2015年4月1日現在満18歳に達しているもの 3. 外国及び国内において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2013年又は2014年に授与された者で、2015年4月1日現在満18歳に達しているもの 4. 外国及び国内において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を2013年又は2014年に授与された者で、2015年4月1日現在満18歳に達しているもの 						
選抜方法等	教育福祉科学部 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、情報社会文化課程総合表現コースの志願者には、面接に代えて実技検査を課します。	経済学部 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。	工学部 大学入試センター試験を免除し、学力検査、面接及び提出書類を総合して選考します。学力検査は下記のとおりです。			
			<table border="1"> <tr> <td>学科 教科等</td> <td> ・機械・エネルギーシステム工学科 ・電気電子工学科 </td> <td> ・知能情報システム工学科 ・応用化学科 ・福祉環境工学科 </td> </tr> </table>	学科 教科等	・機械・エネルギーシステム工学科 ・電気電子工学科	・知能情報システム工学科 ・応用化学科 ・福祉環境工学科
			学科 教科等	・機械・エネルギーシステム工学科 ・電気電子工学科	・知能情報システム工学科 ・応用化学科 ・福祉環境工学科	
			理科	「物理基礎・物理」 又は 「化学基礎・化学」 から1科目		
英語	「リーディング・ライティング」					
数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Aの出題範囲: 場合の数と確率, 図形の性質 ※数学Bの出題範囲: 数列, ベクトル					
出願期間	2015年1月19日(月)～23日(金)					
選抜期日	2015年2月6日(金)					
合格者発表日	2015年2月16日(月)					

【注】工学部福祉環境工学科には、建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。合格者は、志願時に希望したコースに所属して学びます。

(5) 中国引揚者等子女入試

<p>実施学部 課程等名</p>	<p style="text-align: center;">教育福祉科学部</p> <p>学校教育課程 発達教育コース【注】 〈教育学，教育心理学，幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注】 〈国語，社会，数学，理科，音楽，美術， 保健体育，技術，家庭科，英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野，スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野，環境分野〉</p>
<p>募集人員</p>	<p style="text-align: center;">若干名（定員内）</p>
<p>〔出願資格〕</p> <p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者，その他これに準ずる者であって，保護者が引揚者であり，日本国へ引揚げ後，原則として9年以下である者のうち，学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者です。</p> <p>※ 中国引揚者等子女とは，保護者（父と母，又は父母のいずれか，あるいは祖父母等）が引揚者である者をいいます。また，引揚者とは，終戦前（1945年9月2日以前をいう）から引続き外国に居住していた者（当該者を親として終戦後外国において出生した者を含む。）で，終戦後はじめて永住の目的をもって帰国した者をいいます。</p>	
<p>選 抜 方 法 等</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接及び提出書類を総合して選考します。 ただし，学校教育課程教科教育コースの音楽，美術，保健体育選修及び情報社会文化課程総合表現コースの志願者には，面接に代えて実技検査を課します。</p>
<p>出 願 期 間</p>	<p style="text-align: center;">2015年1月19日（月）～23日（金）</p>
<p>選 抜 期 日</p>	<p style="text-align: center;">2015年2月6日（金）</p>
<p>合 格 者 発 表 日</p>	<p style="text-align: center;">2015年2月16日（月）</p>

【注】発達教育コース，教科教育コースの各選修への振り分けは，本人の希望と1年生前学期における成績をもとに，1年生後学期から各選修への所属を決定します。

(6) 社会人入試

〔教育福祉科学部, 経済学部〕

〔社会人入試〕

実施学部 学科等名	教育福祉科学部	経済学部
	情報社会文化課程 社会文化コース【注】 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉	経済学科 経営システム学科 地域システム学科
募集人員	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)
<p>〔出願資格〕</p> <p>平成27年4月1日現在で, 下記1～3に示すいずれかの基礎資格取得後, 社会人経験を5年以上有する満23歳以上の者です。</p> <p>なお, 社会人経験には, 家事従事期間及び定職を持ち定時制, 夜間又は通信制の学校 (大学を含む。) に在学した期間が含まれます。</p> <p>1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p>		
選 抜 方 法 等	教育福祉科学部	経 済 学 部
	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し, 小論文, 面接及び提出書類を総合して選考します。 ただし, 情報社会文化課程総合表現コースの志願者には, 面接に代えて実技検査を課します。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し, 小論文, 面接及び提出書類を総合して選考します。
出 願 期 間	平成27年1月19日 (月) ～ 23日 (金)	
選 抜 期 日	平成27年2月6日 (金)	
合 格 者 発 表 日	平成27年2月16日 (月)	

【注】教育福祉科学部情報社会文化課程社会文化コースを志望する者で英検の資格やTOEICスコア等を有する者は, 面接の参考資料としますので, 資格証明書等の写しを入学志願書とともに提出してください。

〔医学部〕

〔社会人入試〕

実施学部 学科名	医学部看護学科
募集人員	若干名（定員内）
<p>〔出願資格〕</p> <p>次の各号のいずれかに該当する者のうち、平成27年4月1日現在、社会人経験4年以上を有する年齢25歳以上の者で、合格した場合は、入学することを確約できるもの</p> <p>なお、社会人経験には、家事従事期間及び定職を持ち定時制又は通信制の高等学校に在学した期間を含みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 	
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、出願書類、小論文及び面接を総合評価の上、合格者を決定します。
出願期間	平成26年7月22日（火）～25日（金）
選抜期日	平成26年8月19日（火）
合格者発表日	平成26年9月9日（火）

(7) 私費外国人留学生入試

	教育福祉科学部	経済学部	工学部
実施学部学科等名	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野, 環境分野〉	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	機械・エネルギー システム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】
募集人員	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)
<p>〔出願資格〕 下記1及び2をすべて満たしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2015年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 2. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(2013年度の第1回, 第2回又は2014年度の第1回, 第2回の成績の利用を可とするが、複数回受験した者は、出願時にいずれかを指定すること)を受験し、学部ごとに下記の要件を満たしている者 <p>(教育福祉科学部) 次頁の教育福祉科学部のコース・分野で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」, 「読解」の総得点及び記述の得点が共に5割以上であること。</p> <p>(経済学部) 次頁の経済学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」, 「読解」の総得点が180点以上であること、及び総合科目と数学の得点の合計が200点以上であること。</p> <p>(工学部) 次頁の工学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「聴解・聴読解」, 「読解」, 「記述」の総得点が5割以上であること。</p>			

日本留学試験で課す科目について

学部	課程・学科等	利用科目	数学の選択	理科の選択	出題言語
教育福祉科学部	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース〈生活分野〉	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語
	学校教育課程 教科教育コース【注1】 〈数学, 理科, 技術選修〉 情報社会文化課程 情報教育コース 人間福祉科学課程 生活環境福祉コース〈環境分野〉	日本語 理 科 数 学	コース2 (理系)	物理 } 化学 } から 生物 } 2科目	日本語
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語 又は 英 語
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】	日本語 理 科 数 学	コース2 (理系)	物理 } 化学 } から 生物 } 2科目	日本語 又は 英 語

出 願 期 間	2015年1月19日(月)～23日(金)
選 抜 期 日	2015年2月6日(金)
合格者発表日	2015年2月16日(月)
選 抜 方 法 等	日本留学試験並びに本学で実施する学力検査等(次ページ)及び出願書類を総合して選考します。

本学で実施する学力検査等について

学部	課程・学科等	検査科目等
教育学部	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学，教育心理学，幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語，社会，数学，理科，技術，家庭科，英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野，環境分野〉	小論文 面接
	学校教育課程 教科教育コース【注1】 〈音楽，美術，保健体育選修〉 情報社会文化課程 総合表現コース 人間福祉科学課程 心理健康福祉コース 〈スポーツ・健康分野〉	小論文 面接 簡単な実技検査
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	数学又は英語から1教科 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」 小論文 面接
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科	理 科 「物理基礎・物理」 英 語 「リーディング・ライティング」 数 学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Aの出題範囲：場合の数と確率，図形の性質 ※数学Bの出題範囲：数列，ベクトル 面接
	知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】	理 科 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」から1科目 英 語 「リーディング・ライティング」 数 学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※数学Aの出題範囲：場合の数と確率，図形の性質 ※数学Bの出題範囲：数列，ベクトル 面接

【注1】発達教育コース，教科教育コースの各選修への振り分けは，本人の希望と1年生前学期における成績をもとに，1年生後学期から各選修への所属を決定します。

【注2】工学部福祉環境工学科には，建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。合格者は，志願時に希望したコースに所属して学びます。

4. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

募集要項にて公表します。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

5. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

募集要項及び本学ホームページにて公表します。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、東日本大震災に関する入試情報については、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に詳細を掲載しています。

6. 入試過去問題の使用について

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています。ただし、出題科目である「数学」と「小論文」並びに教育福祉科学部の「生活認識を問う問題」は参加しません。

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp/>

7. 平成26年度入学者選抜に関する実施状況

選抜区分	推薦入試			AO入試			特別入試(帰中社私)			一般入試(前期日程)						一般入試(後期日程)						合計													
	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学					
教育福祉科	発達教育コース										若干					19	54	53	21	19	63	287	276	71	66	19	225	95	28	24	100	562	421	117	108
	特別支援教育コース	5	19	19	5	5					若干					3	28	24	4	4	7	17	16	8	7	3	36	18	4	3	15	66	46	17	15
	教科教育コース	13	31	31	13	13					若干					41	205	199	46	43	63	205	199	46	43	11	138	63	17	15	65	374	293	76	71
	学校教育課程 計	18	50	50	18	18					若干	0	0	0	0	63	287	276	71	66	19	225	95	28	24	100	562	421	117	108					
	社会文化コース	5	11	11	5	5					若干	2	1	0	0	7	17	16	8	7	3	36	18	4	3	15	66	46	17	15					
	情報教育コース	5	6	6	5	5					若干					11	22	20	13	9	4	71	41	9	6	20	99	67	27	20					
	総合表現コース	5	5	5	3	3					若干					7	34	31	10	8	3	31	13	5	5	15	70	49	18	16					
	情報社会文化課程 計	15	22	22	13	13					若干	2	1	0	0	25	73	67	31	24	10	138	72	18	14	50	235	162	62	51					
	社会福祉コース	6	12	12	6	6					若干	1	1	1	0	24	53	52	26	24	5	56	22	7	5	35	122	87	40	35					
	心理健康	5	15	15	5	5					若干	1	1	0	0	7	28	25	8	7	3	40	14	4	4	15	84	55	17	16					
福祉コース	3	16	16	3	3					若干					7	34	32	8	8	5	43	26	5	4	15	93	74	16	15						
生活環境	2	6	6	3	3					若干					10	45	44	10	9	3	79	32	4	4	15	130	82	17	16						
福祉コース	2	5	5	3	3					若干	1	0	0	0	10	36	35	10	9	3	101	37	4	4	15	143	77	17	16						
人間福祉科学課程 計	18	54	54	20	20					若干	3	2	1	0	58	196	188	62	57	19	319	131	24	21	95	572	375	107	98						
教育福祉科学部 計	51	126	126	51	51					若干	5	3	1	0	146	556	531	164	147	48	682	298	70	59	245	1,369	958	286	257						
経済学部																																			
経営システム学科	80	114	114	80	80					若干	10	10	2	2	120	311	299	160	144	90	974	382	93	78	305	1,448	844	350	319						
地域システム学科																																			
経済学部 計	80	114	114	80	80					若干	10	10	2	2	120	311	299	160	144	90	974	382	93	78	305	1,448	844	350	319						
医学部																																			
医学科						35	233	84	35	35					65	335	166	66	65						100	568	250	101	100						
看護学科	10	40	40	10	10					若干	5	5	2	2	35	88	86	39	36	15	67	24	13	10	60	200	155	64	58						
医学部 計	10	40	40	10	10	35	233	84	35	35	若干	5	5	2	100	423	252	105	101	15	67	24	13	10	160	768	405	165	158						
機械・エレクトロニクス工学学科	12	22	22	14	14					若干	7	6	3	3	53	183	174	57	52	15	149	64	16	13	80	361	266	90	82						
電気電子工学学科	14	29	29	12	12					若干	3	3	1	0	52	160	158	58	53	14	119	43	20	18	80	311	233	91	83						
知能情報システム工学学科	15	32	32	16	16					若干	1	1	1	1	44	158	157	53	48	11	98	37	12	9	70	289	227	82	74						
応用化学科	12	21	21	13	13					若干	2	2	0	0	38	86	83	43	38	10	83	32	14	10	60	192	138	70	61						
福祉環境工学学科(建築コース)	5	8	8	7	7					若干					35	121	118	38	36	10	128	54	12	12	50	257	180	57	55						
福祉環境工学学科(メカトロニクスコース)	8	24	24	8	8					若干	3	2	0	0	16	70	69	22	19	6	48	19	6	4	30	145	114	36	31						
工学部 計	66	136	136	70	70					若干	16	14	5	4	238	778	759	271	246	66	625	249	80	66	370	1,555	1,158	426	386						
合計	207	416	416	211	211	50	272	123	50	50	36	32	10	8	604	2,068	1,841	700	638	219	2,348	953	256	213	1,080	5,140	3,365	1,227	1,120						

平成26年度一般入試合格者の成績

【前期日程】

学 部	課程・学科(コース・分野)	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育福祉科学部	学校教育課程						
	発達教育コース	19	21	650	468.60	404.50	429.97
	特別支援教育コース	3	4	650			
	教科教育コース	41	46	650	499.50	391.10	432.75
	情報社会文化課程						
	社会文化コース	7	8	650			395.01
	情報教育コース	11	13	650	414.20	298.10	345.21
	総合表現コース	7	10	650	519.70	436.90	465.54
	人間福祉科学課程						
	社会福祉コース	24	26	650	498.30	377.60	412.02
	心理健康福祉コース (心理分野)	14	16	650	486.00	387.00	415.26
	(スポーツ・健康分野)	7	8	650			419.64
	生活環境福祉コース (生活分野)	7	8	650			410.88
	(環境分野)	20	20	650	419.00	382.50	402.13
	10	10	650	419.00	382.50	396.89	
	10	10	650	417.40	399.90	407.37	
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	120	160	1,000	754.60	592.20	632.63
医学部	医学科 看護学科	65 35	65 39	1,050 550	837.50 427.90	723.70 343.90	757.20 362.85
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	53	57	1,025	730.25	541.40	604.45
	電気電子工学科	52	58	1,025	693.95	535.60	588.71
	知能情報システム工学科	44	53	1,025	735.25	566.75	623.95
	応用化学科	38	43	1,025	730.45	541.30	607.90
	福祉環境工学科 建築コース	35	38	1,025	715.80	573.00	622.50
	福祉環境工学科 メカトロニクスコース	16	22	1,025	735.10	550.30	606.91

【後期日程】

学 部	課程・学科(コース・分野)	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育福祉科学部	学校教育課程						
	発達教育コース	6	9	550			343.44
	特別支援教育コース	2	2	550			
	教科教育コース	11	17	550	433.60	361.20	383.81
	情報社会文化課程						
	社会文化コース	3	4	500			
	情報教育コース	4	9	500			338.40
	総合表現コース	3	5	500			
	人間福祉科学課程						
	社会福祉コース	5	7	600			403.06
	心理健康福祉コース (心理分野)	8	9	600			428.78
	(スポーツ・健康分野)	3	4	600			
	生活環境福祉コース (生活分野)	5	5	600			
	(環境分野)	6	8	600			390.23
	3	4	600				
	3	4	600				
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	90	93	700	555.20	442.00	467.36
医学部	医学科 看護学科	— 15	— 13	— 550	— 440.40	— 321.00	— 376.58
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	15	16	1,100	855.600	805.725	822.370
	電気電子工学科	14	20	1,100	879.300	794.275	821.420
	知能情報システム工学科	11	12	1,100	848.800	786.900	812.670
	応用化学科	10	14	1,100	871.425	804.550	833.660
	福祉環境工学科 建築コース	10	12	1,100	875.475	811.750	834.660
	福祉環境工学科 メカトロニクスコース	6	6	1,100			797.050

- ※ 追加合格者は除く。
- ※ 合格者10人未満の場合は、平均点のみ開示。
- ※ 合格者が5人以下の場合は、個人情報となるので不開示。

8. 平成 28 年度入学者選抜方法について—予告—

学習指導要領の改訂に伴う平成 28 年度入学者選抜（一般入試）における大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目の平成 27 年度との変更点は次のとおりです。

なお、現時点（平成 26 年 7 月）での内容であり、今後、変更する可能性もありますので、本学からの発表について、ご注意願います。

大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目

平成 28 年度大学入試センター試験の数学の出題科目から「工業数理基礎」が除かれたことから、大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目から「工業数理基礎」を除きます。なお、「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」としての「工業数理基礎」の取扱いについては、後日、本学ホームページにてお知らせします。

個別学力検査の出題科目名等

(1) 国語

教育福祉科学部

個別学力検査	
教科等	科目名等
国語	〔国語総合〕

(2) 英語

教育福祉科学部

個別学力検査	
教科等	科目名等
英語	〔英語〕（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）

経済学部

個別学力検査	
教科等	科目名等
英語	〔英語〕（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）

医学部

個別学力検査	
教科等	科目名等
英語	〔英語〕（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）

※ 旧教育課程で学習した受験者に不利益が生じることがないよう配慮します。

9. 募集要項の請求方法

各入試に出願するためには、願書が同封された募集要項が必要です。

募集要項の請求方法には、(1) インターネットで請求、(2) 大分大学に郵送で請求、(3) 大分大学学生支援部入試課の窓口で受領、(4) 電話（テレメール）で請求の4つの方法があります。

なお、(1) インターネットで請求及び(4) 電話（テレメール）で請求の募集要項の送付状況等についての問い合わせは、大分大学では対応できませんので、それぞれの問い合わせ先に電話をしてください。

募集要項等	公表 予定時期
一般入試学生募集要項	12月上旬
推薦入試学生募集要項	10月上旬
経済学部AO入試学生募集要項	6月中旬
医学部医学科AO入試学生募集要項	6月中旬
特別入試学生募集要項 (帰国子女・中国引揚者等子女・社会人・私費外国人留学生入試) ※医学部看護学科社会人入試を除く	12月上旬
医学部看護学科社会人入試学生募集要項	6月下旬
大学案内（受験者向けパンフレット）	6月下旬

※医学部看護学科社会人入試学生募集要項については、インターネット及び電話（テレメール）での請求ができません。

(1) インターネットで請求

次の2つのサービスのいずれかを利用して、募集要項を請求することができます。パソコンから下記URLにアクセスするか、携帯電話・スマートフォンで下記バーコードを読み取ってそれぞれのサイトにアクセスして、請求をしてください。なお、請求方法の詳細は、各サイトの指示に従ってください。

	パソコンから請求	携帯電話・スマートフォンから請求
テレメール	http://telemail.jp	
	※資料請求番号は、65ページを参照してください。 ※テレメールでの資料請求に関するお問い合わせ先 テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)	
モバっちょ	http://djc-mb.jp/oita-u3/	
	※モバっちょでの資料請求に関するお問い合わせ先 TEL 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)	

※本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/05shiryo.html>) にアクセスし、各サービスのボタンをクリックして、各サイトに移動することもできます。

(2) 大分大学に郵送で請求

募集要項を郵送する際に必要な郵便料金分（下記【郵便料金一覧】参照）の切手を貼り、申込者の郵便番号、住所、氏名を記入した角形2号の返信用封筒を、本学への往信用封筒に同封し、下記の請求先住所に郵送で請求してください。

往信用封筒の表には、「一般入試学生募集要項請求」、「推薦入試学生募集要項請求」等の請求する資料名を正確に朱書きするとともに、連絡のつく電話番号を同封してください。（資料名が不明確な場合、配布開始前の場合、返信用封筒の切手が不足する場合等のお問い合わせに利用します。）

※往信用封筒の大きさは、返信用封筒が入ればどのような大きさでもかまいません。

※郵送での請求の場合、原則として本学に返信用封筒が到着した翌日の発送となります。

請求先住所	〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番 大分大学学生支援部入試課 宛
-------	---

【郵便料金一覧】

募集要項等	普通料金（円）	速達料金（円）
一般入試学生募集要項	400	780
一般入試学生募集要項＋大学案内	600	980
推薦入試学生募集要項	400	780
経済学部AO入試学生募集要項	250	530
医学部医学科AO入試学生募集要項	400	780
特別入試学生募集要項（帰国子女・中国引揚者等子女・社会人・私費外国人留学生入試）	250	530
医学部看護学科社会人入試学生募集要項	250	530
大学案内（受験者向けパンフレット）	250	530

(3) 大分大学学生支援部入試課の窓口で受領

学生支援部入試課の窓口で募集要項の配布を行っています。

- (1) 配布場所 大分大学学生支援部入試課（大分市大字旦野原 700 番地）
- (2) 配布時間 8：30～17：15（土日、祝日、夏季一斉休業期間、年末年始休業期間を除く。）
- (3) 問い合わせ先 TEL 097-554-7519

(4) 電話（テレメール）で請求

テレメールのサービスを利用して、自動音声応答電話で募集要項及び大学案内を請求することができます。

IP 電話 050-8601-0101

※請求方法は、音声ガイダンスに従ってください。

資料名	資料請求番号
一般入試学生募集要項	587852
一般入試学生募集要項＋大学案内	547952
推薦入試学生募集要項	587862
経済学部AO入試学生募集要項	547972
医学部医学科AO入試学生募集要項	547992
特別入試学生募集要項（帰国子女・中国引揚者等子女・社会人・私費外国人留学生入試）	564982
大学案内（受験者向けパンフレット）	587882

※テレメールでの資料請求に関するお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL：050-8601-0102（9:30～18:00）

○ 募集要項請求に関する問い合わせ先

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7519

入学者選抜試験に関する問い合わせ先

大分大学学生支援部入試課

〒870-1192

おおいたしおおあざだんのはる
大分市大字巨野原700番地

TEL 097-554-7471

FAX 097-554-7472

ホームページ <http://www.oita-u.ac.jp/>